

事業報告書

(第 8 期)

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人園芸振興松島財団

第1. 事業の概要

平成30年度（第8期-通算第45期）の事業概要を以下の通り報告する。

1. 助成事業

当財団の事業目的たる青果物の生産及び流通両面に亘る調査、研究、開発およびその普及に対する助成、奨励等の助成事業は、平成30年6月9日12時より理事および専門委員合同会議を開催し、「平成30年度第45回研究助成候補者募集要領」ならびに「平成30年度第44回振興奨励候補者募集要領」について事務局原案を検討し決定した。

引き続き専門委員による選考会議等の日程について協議した結果、本年度応募の取扱に関する専門委員による会議を平成30年11月17日正午より新橋 第一ホテルにて開催、12月15日10時より果樹部会、同日12時より流通経営部会、同日14時30分より野菜部会、平成31年1月12日正午より合同審査部会を順次日本果樹種苗協会事務所にて開催することを決定した。併せて、2月2日12時よりアルカディア市ヶ谷にて第2回定時理事会を開催し、今年度の研究助成及び振興奨励の受賞者を審議決定し、贈呈式は3月19日14時より第一ホテルアネックスにて開催することを決定した。

応募周知方法は、締切を10月末とし、例年通り、全国各大学の農業・園芸関係学部約60校および独立行政法人並びに各都道府県の試験研究機関の約80機関宛に関係必要書類を送付し依頼すると共に、農業関係団体にも農業実践者に周知徹底するよう依頼した。また、従来通り園芸専門誌（農業および園芸、農耕と園芸、果実日本、技術と普及、JATAFF ジャーナル等）および専門業界紙（日本農業新聞、農経新聞等）にニュース記事掲載を依頼し、インターネットの財団サイトにおいても募集要領を掲載し、広く公募を行った。その結果、本年度は、研究助成候補申込み38件、振興奨励賞候補申込み2件、合計40件の応募があった。

次いで、11月17日開催の専門委員会において、応募一覧表をもとに部門別分類を検討した結果、下記表（1）及び表（2）の通り、2件は対象外作目のため審査対象とせず、研究助成は野菜部門19件、果樹部門9件、流通経営部門8件とし、振興奨励は、果樹部門1、流通経営部門1件（果樹部門共通）とした。

(1) 平成30年度研究助成応募一覧

単位：円

部門別No.	課 題	候補者	希望額
1	スイートコーンの糖度向上に向けた共生微生物利用型栽培技術の開発	肥後 昌男	700,000
2	業務加工用巨大ブロッコリー栽培技術の確立	高橋 徳	700,000
3	人工光型植物工場における新規高機能性葉菜としてのゴマ幼植物体の生産技術の開発	伊達 修一	504,000
4	国内の各地域の栽培体系に適した多収性で、特徴のあるカラーピーマンF1品種育成	武田 和宣	700,000
5	トマトにおける窒素栄養診断のための近赤外光センサーを用いた非破壊測定法の確立	坂口 雅己	700,000
6	酸性電解水を使った細霧冷房による水なすの病害抑制および果実の微生物汚染防止技術	西村 幸芳	620,000
7	半促成栽培ナスにおける側窓の自動開閉機能利用による日焼け果発生抑制技術の開発	アクリッシュ(金剛) 穂波	700,000
8	単為結果性カボチャ品種の利用に関する研究	滝澤 理仁	700,000
9	トマト心腐果対策技術の確立	深山 陽子	678,000
10	極早生タマネギの肥大要因解明と冬どり栽培の検討	池田 裕樹	700,000
11	カラーピーマン栽培におけるフラッシュの標準化技術の検討	吉田 千恵	700,000
12	透光性マルチフィルムの利用によるレタス菌核病を防ぐ栽培体系の開発	佐野 太郎	670,000
13	簡易遺伝子診断法を用いたトウガラシ属植物におけるウイルス病害対策の改善	関根健太郎	700,000
14	しじみを超える高オルニチン含有葉野菜の水耕栽培法の開発	蜂谷 卓士	650,000
15	光質処理による夏秋イチゴの生産量向上技術の開発	菊地 郁	690,000
16	高活力種子利用による夏播きキャベツの発芽不良問題の解決法確立	篠原 卓	683,000
17	画像処理によるセル成型苗の非破壊かつ迅速な品質評価系の開発	鈴木 丈詞	700,000
18	土着天敵の安定的確保に有効な冷蔵保存法の開発	安達 鉄矢	600,540
19	宮崎県綾町の自然生態系システムにおける有機質肥料の循環に関する研究	戸敷 浩介	700,000
以上 野菜部門 19件			
1	香酸カンキツ「辺塚ダイダイ」の特性解明	山本 雅史	680,000
2	ブルーベリー近縁種ナガボナツハゼにおける果実の成熟特性と品質評価	八幡 昌紀	700,000
3	モモ果実の褐変化評価	本多 親子	456,000
4	施設ブドウにおける牧草導入による天敵カブリダニ類の効果的な定着方法の確立	角 葉津子	700,000
5	塩水処理によるパッションフルーツの青落ち抑制技術に関する研究	近藤 友大	700,000
6	ウルトラファインバブル水を用いた果樹の大苗育苗に関する研究	濱田 和俊	695,979
7	黄緑系ブドウ品種'シャインマスカット'の同質四倍体の育成	安田 喜一	700,000
8	果肉不褐変バナナの褐変の原因解明	園田 雅俊	700,000
9	極晩生モモの安定生産を可能にする多目的防災網による病虫害対策、収穫技術の開発	松本 辰也	700,000
以上 果樹部門 9件			
1	福島産白桃のタイ輸出に関する消費者嗜好分析	中村 哲也	420,000
2	シャインマスカットの経済性及び導入効果と市場動向に関する実証的研究	山本 善久	696,000
3	あらたな消費者獲得をめざしたブドウ・カキの味覚感度・嗜好調査	澤田 玲子	698,000
4	ギンナンの剥き身採取機に関する基礎研究	大角 雅晴	693,000
5	Brix 値の柔軟な解釈による高精度なイチジク品質管理法の開発	北田 康祐	620,400
6	農家が実装可能な青果物の総合品質評価装置の開発に向けて	荒木 徹也	700,000
7	生鮮果実貯蔵中におけるペクチンのナノ構造変化と食感との関係	今泉 鉄平	700,000
8	房取りブルーベリーの長期貯蔵の開発にむけた生理学的研究	望月 佑哉	700,000
以上 流通経営部門 8件			
総計 36件			

(2) 平成30年度振興奨励賞応募一覧

単位：円

部門別No.	課 題	候補者	推薦者
果 ①	モモ台木「ひだ国府紅しだれ」の育成と普及	育成グループ (代) 宮本 善秋	正立 龍大 岐阜県園芸特 産振興会会長
流 ②	リンゴ(生鮮)の機能性表示食品の開発	リンゴ機能性食品 開発グループ (代) 庄司 俊彦	鍋谷 浩志 農研機構食品 研究部門長

専門委員による部門別選考会議は、理事・専門委員合同会議において決定した日程のとおり開催し、部会長のみ参集による合同審査部会に付議された各部会の選考審査結果は、研究助成対象候補者として、野菜部門は推薦3件、果樹部門は推薦2件、流通経営部門は推薦2件、合計推薦7件であった。落選者の中から選考する第14回松島光代特別助成候補者としては、野菜部門1件、流通経営部門1件の計2件であった。振興奨励対象候補の推薦は、果樹部門1件であった。

合同審査部会は1月12日開催され、第一次審査結果について精査し、研究助成350万円、振興奨励20万円、特別助成10万円の助成予算のうち、研究助成の希望金額について、課題遂行上の適合性や必要性を検討し、学会参加旅費を削除するなどの調整を行い、できるだけ多くのすぐれた課題を採択することとし、協議を重ねた結果、研究助成対象候補者として野菜部門3件（No. 2、No. 6、No. 11）、果樹部門2件（No. 4、No. 6）流通経営部門2件（No. 2、No. 8）、合計7件の推薦を決定し、一部の課題については適正かつ簡潔な表現へ課題名の修正案を検討した。さらに、松島光代特別助成対象候補者として野菜1件（No. 15）、流通経営1件（No. 3）の推薦を決定し、贈呈額については、特別助成を加え総額370万円の案を理事会に答申することとした。また、振興奨励対象候補者は、果樹部門1件の推薦を決め、理事会に諮った。

2月2日開催の第2回理事会では、答申を受け、専門委員長より専門部会における詳細な審査報告を聴取し、個々に研究の水準、有用性を中心に慎重に審議した結果、専門委員合同審査部会の答申通り、一部の課題名を修正のうえ、研究助成対象者として野菜部門3件（No. 2、No. 6、No. 11）、果樹部門2件（No. 4、No. 6）、流通経営部門2件（No. 2、No. 8）計7件を決定した。松島光代特別助成は、予算は1件分で、答申のあった野菜部門1件（No. 15）、流通経営部門1件（No. 3）を決定した。振興奨励対象者は、果樹部門1件を決定した。贈呈額は予算額を考慮し、研究助成額は計350万円、及び特別助成の助成金は各10万円とし、振興奨励対象者の賞記および楯の作成費用を1件5万円とし、総額375万円支出することを承認決定した。理事会終了後、助成金受領の確認及び贈呈式への出席案内を含め、対象者本人へ通知した。松島光代特別助成対象者については、10万円を贈呈することを本人に通知し、贈呈式には不参加であるが、専門委員長より選考経過

を報告することとした。また、選考に漏れた応募者全員にも、選考結果を通知した。贈呈式直後に、研究助成贈呈者1名より、4月1日人事異動のため、当人及び所属機関としても当該課題の遂行が困難なため助成を辞退するとの申し出があり、理事長・業務執行理事において、やむを得ないと判断した。以上から、本年度の研究助成は6件総額300万円、特別助成2件20万円、及び振興奨励賞1件を授与した。贈呈決定者について、表(3)、表(4)、表(5)に示し、第1期以降の助成件数と助成額を表(6)に記した。

(3) 第45回研究助成金贈呈決定者

単位：万円

代表者	課 題	贈呈額
大阪府立環境農林水産総合研究所 西村 幸芳	酸性電解水の細霧冷房による水ナスの病害抑制と果実の微生物汚染防止技術	50
農研機構 野菜花き研究部門 高橋 徳	ブロッコリーの大玉化栽培技術の開発	50
以上 野菜部門 2件		
島根県農業技術センター 角 菜津子	施設ブドウにおける牧草導入による天敵カブリダニ類の効果的な定着方法の確立	50
高知大学農林海洋科学部 濱田 和俊	果樹の育苗におけるウルトラファインバブル水の効果	50
以上 果樹部門 2件		
島根県農業技術センター 山本 善久	シャインマスカットの経済性及び導入効果と市場動向に関する実証的研究	50
茨城大学農学部 望月 佑哉	房どりブルーベリーの長期貯蔵の開発にむけた生理学的研究	50
以上流通経営部門 2件		
総計 6件		

(4) 第44回振興奨励賞贈呈決定者

代表者	課 題
岐阜県中山間農業研究所 「ひだ国府紅しだれ」育成グループ代表者 宮本 善秋	もも台木「ひだ国府紅しだれ」の育成と普及

(5) 第14回松島光代特別助成贈呈決定者

単位：万円

贈呈者	課 題	贈呈額
菊地 郁	光質処理による夏秋イチゴの生産量向上技術の開発	10
以上 野菜部門 1件		
澤田 玲子	あらたな消費者獲得をめざしたブドウ・カキの味覚感度・嗜好調査	10
以上 流通経営部門 1件		
総計 2件		

(6) 年次別助成事業（贈呈金）の実績

単位：万円

	期	研究助成金		振興奨励金		特別助成金		贈呈助成額計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
昭和・49	1	9	782					9	782
50	2	10	725	7	220			17	945
51	3	7	650	3	90			10	740
52	4	6	499	4	120			10	619
53	5	11	570	2	50			13	620
54	6	7	561	1	30			8	591
55	7	8	610	2	60			10	670
56	8	5	444	1	30			6	474
57	9	8	650	1	30			9	680
58	10	7	625	1	90			8	715
59	11	5	479	2	60			7	539
60	12	4	380	0	0			4	380
61	13	2	185	0	0			2	185
62	14	4	360	2	60			6	420
63	15	7	670	1	30			8	700
平成・1	16	6	555.5	3	90			9	645.5
2	17	8	781.5	4	120			12	901.5
3	18	9	850	5	150			14	1,000
4	19	6	567	3	90			9	657
5	20	8	690	4	120			12	810
6	21	4	320	3	90			7	410
7	22	4	280	2	40			6	320
8	23	5	338	4	80			9	418
9	24	4	310	3	60			7	370
10	25	6	425	2	40			8	465
11	26	5	330	1	20			6	350
12	27	6	380	3	60			9	440
13	28	5	386	1	20			6	406
14	29	6	410	2	40			8	450
15	30	6	390	3	60			9	450
16	31	6	410	2	40			8	450
17	32	6	320	3	60	2	20	11	400
18	33	7	430	1	20	1	10	9	460
19	34	7	500	0	0	1	10	8	510
20	35	7	420	5	100	1	10	13	530
21	36	7	430	1	20	1	10	9	460
22	37	6	280	2	40	1	10	9	330
23	38	4	240	1	20	1	10	6	270
24	39	6(5)	240	2	9	2	20	9	269
25	40	5	245	1	5	2	20	8	270
26	41	5	240	3	15	2	20	10	275
27	42	6(5)	248	2	10	2	20	9	278
28	43	7	355	1	5	2	20	10	380
29	44	7	340	4	20	1	10	12	370
30	45	6	300	1	5	2	20	9	325
累 計		278	20,201	99	2,319	21	210	398	22,730

注：研究助成で平成24年度6件(390万円)のうち1件(70万円)、平成27年度6件(300万円)のうち1件(58万円)が辞退。振興奨励で平成24年度より贈呈金を記念楯に変更。金額は賞記・楯の作成実費。

第2. 庶務の概要

1. 監事監査

- (1) 平成30年5月7日(月) 財団事務所にて
平成29年度の事業報告及び決算報告等について監事による監査

2. 理事会

- (1) 平成30年5月19日(土) 市ヶ谷アルカディアにて

第1回定時理事会

議案1号 平成29年度事業報告及び収支決算承認の件

議案2号 平成30年度評議員会開催の件

議案3号 平成30年度専門委員選任の件

報 告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

- (2) 平成30年6月9日(土) 市ヶ谷アルカディアにて

理事・専門委員合同会議

議案1号 平成30年度研究助成・振興奨励候補者募集要領等の件

議案2号 平成30年度募集・審査日程決定の件

- (3) 平成31年2月2日(土) 市ヶ谷アルカディアにて

第2回定時理事会

議案1号 平成30年度研究助成・振興奨励賞、松島光代特別助成の件

議案2号 平成30年度研究助成金・振興奨励賞贈呈式の件

議案3号 平成31年度事業計画書の件

議案4号 平成31年度収支予算書の件

報 告 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

3. 評議員会

- (1) 平成30年6月9日(土) 市ヶ谷アルカディアにて
定時評議員会

議案1号 平成29年度決算報告書承認の件

4. 公告

- (1) 平成30年6月9日

平成29年度正味財産増減計算書、役員名簿につき事務所入口に公告した。

5. 内閣府報告

- (1) 平成30年6月26日

平成29年度事業報告書および決算報告書を、電子申請で内閣府に提出した。

- (2) 平成31年3月1日

平成31年度事業計画書および収支予算書を、電子申請で内閣府に提出した。

6. 内閣府立入検査

平成30年9月7日 財団事務所にて行われた。

7. その他の庶務事項

- (1) 平成31年1月9,10日

公益財団法人会計セミナーに事務局が参加した。

- (2) 平成31年1月25日

会計等事務局業務につき会計担当理事と事務局で協議した。

- (3) 平成31年4月24日

第1回理事会開催、諸会議予定等につき、代表理事、事務局長、事務局で打合せを行った。

第3. 役員等名簿 (平成31年3月31日現在)

理事氏名

代表理事	松島和夫	
理事	染 英昭	
理事	間苧谷徹	(業務執行理事)
理事	岩堀修一	
理事	松井弘之	
理事	吉岡 宏	
理事	駒村研三	(業務執行理事) (事務局長)
理事	佐藤研司	
理事	篠澤忠孝	
理事	高橋秀敏	
監事	月岡涼吾	
監事	和泉 貢	

評議員氏名

評議員長	杉山信男
評議員	加倉井弘
評議員	林 武幸
評議員	松島由夫
評議員	吉田企世子
評議員	早川 潔
評議員	吉森則夫

評議員選定委員氏名

選定委員長	杉山信男
選定委員	月岡涼吾
選定委員	土門祐子
選定委員	本藤光隆
選定委員	村上ゆり子

専門委員氏名

専門委員長	篠原 温	(野菜部門)
専門委員	樫村芳記	(果樹部門)
専門委員	渡辺慶一	(流通経営部門)
専門委員	永田雅靖	(野菜部門・流通経営部門)
専門委員	佐藤文生	(野菜部門)
専門委員	朱亀寿美朗	(野菜部門)
専門委員	鈴木 彰	(野菜部門)
専門委員	白石清隆	(果樹部門)
専門委員	菅谷純子	(果樹部門)
専門委員	瀧口和徳	(果樹部門)
専門委員	吉岡博人	(果樹部門・流通経営部門)
専門委員	大塚好雄	(流通経営部門)
専門委員	松下秀介	(流通経営部門)

参与氏名 森 宏